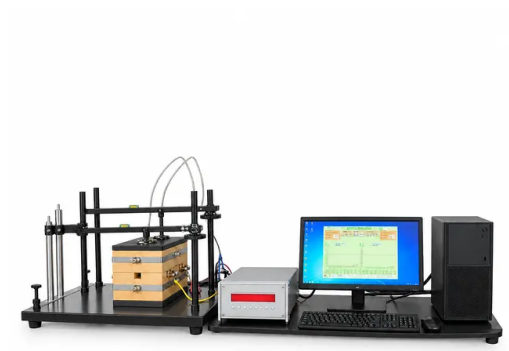


自動マイコン制御式石炭プラストメーター（石炭の流動性試験装置）

商品番号: KT-TE23



前書き

産業用石炭試験向けに設計されたこの自動システムは、プラスチック層の厚みと収縮値を正確に測定します。デュアル炉制御、自動温度曲線プログラミング、石英ドラム記録、品質検証のための完全な試験レポート作成機能を備えています。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
冶金用コークス炭の分類	プラスチック層厚（Y）および収縮（X）の定量的測定により、国内外の規格に基づいてコークス用石炭のランクを分類します。	正確な原料分類を保証し、産業用コークス炉での不適切なグレード使用を防ぎます。
高炉用コークスの配合最適化	単一炭および石炭ブレンド全体の熱可塑性挙動を評価し、プラスチックゾーンの重なりをバランスさせ、配合処方をも最適化します。	石炭調達コストを削減しつつ、生成されるコークスの構造的完全性と冷間/熱間強度を維持します。
選炭および品質管理	洗浄済みおよび未洗浄の瀝青炭フラクションを日常的に監視し、熱軟化および収縮パラメータの一貫性を検証します。	プロセス変動を早期に特定し、出荷される石炭が商業契約仕様を満たしていることを保証します。
炭化およびコークス化メカニズムの研究	石炭の熱分解速度論、ガス発生ダイナミクス、半コークス遷移フェーズに関する学術的および産業的調査。	高度な燃料科学研究のために、高解像度の体積収縮プロファイルと温度曲線を提供します。
商業用石炭検査および貿易監査	バルク輸出入および国内流通契約のための、コークス化特性に関する独立したラボ認証。	カラー印刷されたグラフィカルな記録と監査可能な試験ログを備えた、反論の余地のない自動化されたドキュメントを提供します。
高炉運転のリスク軽減	コークス炉の耐火壁を損傷させる可能性のある過度の膨張圧や不規則な収縮曲線を持つ石炭をスクリーニングします。	危険な高膨張性石炭ブレンドを未然に排除することで、コークス炉の耐火物の耐用年数を延ばします。

パラメータ仕様	値 / 技術定格
製品識別コード	KT-TE23
温度測定範囲	0 °C ~ 999 °C
温度分解能	1 °C
温度測定誤差	±2 °C
センサー構成	K型熱電対アセンブリ
最大制御電流	12 A
動作モード	連続産業運転
コントローラー精度クラス	0.5級
記録ドラムメカニズム	石英記録ドラムアセンブリ
ドラム線速度	1 mm/min

パラメータ仕様	値 / 技術定格
ドラム直線変位精度	160分間で160 ± 2 mm
加熱プログラムパラメータ	30分で0°C〜250°C；250°C以上で3°C/minの線形昇温
加熱制御電力	4 kW × 2（デュアル炉機能）
電源要件	AC 220 V ± 5%, 50 Hz
対応オペレーティングシステム	Windows 98以降
測定可能な分析指数	最大プラスチック層厚（Y）、収縮値（X）、体積曲線タイプ、コークス技術特性
温度ログ間隔	前後炉温度を10分ごとに自動記録
グラフィカル出力	試験記録、体積収縮曲線、温度曲線のカラープリントアウト